

## ネオシード、ワイズシステムとクラウド型IP-PBX拡販で提携！

サーバ・ホスティングとシステム開発のネオシード株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：小牧崇史）は、クラウド型IP電話集約装置（IP-PBX）システム「BeePo（ビーポ）」を改良し、IT・知財コンサルタントの株式会社ワイズシステム（本社：京都市伏見区、代表取締役：山岡敬章）と、販売体制の拡充に向けて業務提携を締結した。

### 【IP-PBX（IP電話集約装置）をクラウドで預かる！】

「BeePo（ビーポ）」は、IP電話で内線システムや代表番号運用を低コストで利用できるよう、IP-PBX（IP電話集約装置）を利用企業内に設置せず、レンタル・サーバのようにサーバセンターで預かる仕組みを採用した”クラウド型IP-PBXシステム”だ。従来、高価なIP-PBXを購入・設置を必要としたケースでも、BeePoを利用すれば月額システム利用料で、規模の大小に関わらず、工事の必要もなく即座にIP電話システムを構築できる。

### 【外出中の社員のスマホが、社内の内線と同じように利用できる！】

電話機は一般的なIP電話機のほかパソコンやスマートフォンにソフトウェアをインストールし利用できる。インターネットに接続できる環境があれば、どこでも会社の電話の一台として利用できる、クラウド型ならではの画期的な機能がある。通信コストダウンに取り組む、拠点の多い企業、在宅や外出スタッフの多いベンチャー企業や、IP電話に理解の深い外資系の法人との契約が目立つという。コールセンターやサポートセンターを事業とする顧客企業では数十回線ものシステムを構築し、大きな効果をあげている。

### 【新機能！ いままでの電話番号・回線との共存を可能にした！】

IP電話は、050から始まる電話番号になるが、従来のISDNやアナログの電話番号を大切にしたいというケースが多くあり、新たに、NTTなどのアナログ・ISDN回線の信号をIP電話の信号に変換するオプション機器を利用することで、発着信とも従来の回線・番号でBeePoを運用できるようにした。既存の回線とIP電話回線を同時に使い分けできることで、IP電話に乗り換えるデメリットを解消したと言えるだろう。BeePoの拡販・ソリューションに対応していくために、ネオシードは、IT分野の拡販・企画に強いコンサルタントであるワイズシステムと提携し、今年度、販売網を日本全国に広げていく計画だという。

【製品紹介WEBアドレス】

<http://beepo.jp/>

【簡易企画書のダウンロードアドレス】

<http://beepo.jp/BeePo20120120.pdf>

お問い合わせ先・開発・販売元： ネオシード株式会社 担当 小牧

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 73 プロミエ秋葉原 3F TEL 050-5830-5170 FAX 03-6745-9180

販売促進コンサルティング： 株式会社ワイズシステム <http://www.wides.com>

〒612-0012 京都市伏見区深草一ノ坪町 12-2 久安ビル 3F TEL 075-646-0667 FAX 075-646-0668